

令和 5 年 10 月 10 日

I はじめに

令和 5 年 10 月市議会臨時会を招集申し上げましたところ、議員の皆様には御出席いただき誠にありがとうございます。

議員の皆様におかれましては、去る 9 月 17 日に行われた市議会議員選挙におきまして、厳しい選挙戦を勝ち抜かれ、見事に当選の栄誉を得られました。

改めてお祝いを申し上げますとともに、市民の皆様の負託に応えるべく、今後 4 年間、御健勝で御活躍されますことを祈念申し上げます。

さて、一昨年 11 月、私が市長に就任して以来、間もなく 2 年を迎えようとしております。

これまで、私が公約で掲げた「守る」「育てる」「輝く」を柱に、全ての市民が生き生きと健康に暮らし、幸せを感じることができる「健幸増進都市」を目指し、職員とともに全力で市政課題に取り組んでまいりました。

また、市政運営に当たりましては、常に市政のアップデートを図り、更に新たな発想も取り入れながら、時代のニーズに見合った形にバージョンアップすることを念頭に進めているところです。

振り返りますと、この 2 年間は、令和元年東日本台風災害からの復興、新型コロナウイルス感染症への対応、善光寺御開帳の開催をはじめ本市のにぎわいの再生など、喫緊の課題に取り組むとともに、更なる魅力アップに向けたトップセールスによる情報発信、新産業やスタートアップの推進など市内経済の活性化、子ども・子育て支援や教育に関する施策の充実・強化に力を注いでまいりました。

この間、議員の皆様、市民の皆様、関係団体や市内事業者、周辺の市町村長からの御理解と御協力をいただきながら、市政運営に当たることができました。

このような変化が著しい社会に対応するためには、市行政、市職員が、前例にとらわれず、新たな発想と手法を取り入れながら、行政自らがチャレンジする姿勢で臨むとともに、市役所全体が市民のために、チームとして一丸となって取り組んでまいりたいと考えております。

そして、市民一人ひとりが暮らしの中で変化を感じながら、「長野市に暮らしていて良かった」、また、市外の方々からも「長野市に住みたい」と思っただけけるよう、議員の皆様とともに、未来のまちづくりについて建設的な議論を重ねながら、人もまちも生き生きとしているまち、オリンピック開催都市として輝けるまち、さらには未来に向けて選ばれるまちを目指してまいります。

Ⅱ 市の動向

次に、主な施策・事業の動向について申し上げます。

本市のまちづくりの指針である「第五次長野市総合計画後期基本計画」においては、人口減少・少子高齢化対策と地域活性化に向け、分野横断的に取り組む総合戦略を掲げ、「幸せ実感都市 ながの」の実現に向け、全庁を挙げて各種施策を進めております。

また、本年度予算は、「未来へのチャレンジと変化の兆し」の方針の下、「子育て・教育・若者の活躍」、「新産業創造」、「地域経済・農業振興」、「スポーツの力」などの未来へのチャレンジ施策に予算を重点配分するほか、物価高騰、公共施設の長寿命化対策や社会保障関係経費などを確保し、取り組んでおります。

このうち、現在、本市が重点的に取り組んでいる施策につきまして、改めて申し上げます。

まずは、「子ども・子育て支援と教育環境の整備」についてです。

子育て支援の充実につきましては、昨年度、こども総合支援センター

「あのえっと」を新たに設置し、関係機関とも連携しながら相談者に寄り添う体制を整備しました。

また、安心して子どもを産み育てる環境づくりを推進するため、福祉医療費給付の対象者をこれまでの「中学３年生まで」から「18 歳年度末まで」に拡大するとともに、新たに保育所等の使用済おむつ処分事業を開始しました。

さらに、放課後子ども総合プランにつきましては、来年度からのながのこども財団による運営に向け、準備を進めております。

教育支援センター「SaSaLAND」については、子どもたちの新たな居場所として、児童生徒、保護者の期待に応えられるよう、開設に向けた準備を進めております。引き続き、児童生徒一人ひとりの豊かな学びと自立に向けた最適な支援、環境整備に力を注いでまいります。

また、新たに開始する「子どもの体験・学び応援モデル事業」については、様々な体験等の機会を提供し、子どもたちのチャレンジや成長につながるよう、今年度、まずは実証事業として実施いたします。現在、来月からの利用に向け、準備を進めておりますが、この実証事業の結果を基に、翌年度以降も継続的に実施するための効果的な事業スキームをしっかりと検討してまいりたいと考えております。

次に、「本市の魅力を活かした産業振興」についてです。

長期にわたり影響を受けた新型コロナウイルス感染症の位置づけが、本年５月から「５類」に変更され、少しずつ以前のような生活や経済活動に戻りつつあります。

一方で、原油価格・物価高騰が長期化しており、市内企業、個人事業者等にとって、非常に厳しい状況が続いております。

また、人口減少・少子高齢化を背景とした各産業の担い手不足などの問題に対応するため、デジタル技術を活用した生産性向上と、新たな産業の創造や専門分野等の人材育成が必要とされております。

これらの状況に対応するため、中小企業のデジタル化や人材育成への支援、インバウンド需要の拡大に向けた積極的な誘客、長野市産果樹のブランド化に向けた事業展開による販路・消費の拡大、農林業の担い手確保や起業家の

育成を含めたスタートアップへの支援など、商工・観光業及び農林業振興への支援に取り組み、本市経済の成長を推進してまいります。

次に、「市民の健康増進とスポーツ振興」についてです。

人生 100 年時代と言われる中、市民一人ひとりが生き生きと健康で自立した生活を送り続けるためには、生涯を通じて健康づくりに取り組むことが重要であると考えております。

このため、昨年度から実施している「健幸ラジオ体操」の普及促進、「シン・長野市はつらつ体操」等によるフレイル予防の推進など、医療・介護をはじめ、あらゆる分野と連携しながら、健康をテーマとした施策に取り組んでまいります。

また、市民のスポーツ参加の促進、スポーツの力を活かした地域の活性化につなげるため、部活動の地域移行、総合型地域スポーツクラブの運営基盤の強化、プロスポーツチームとの連携強化、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会に向けた施設整備などに取り組んでまいります。

次に、「住民と行政との協働によるまちづくりの仕組み」についてです。

全ての地区で住民自治協議会が設立された平成 21 年度当時から社会情勢は大きく変化し、現在、地区における担い手不足や負担感のほか、地区ごとに異なる課題が生じています。このため、現在、住民と行政との適切な役割分担や時代に応じた住民自治の在り方を含め、より良い仕組みについて検討を進めております。

次に、「災害に強いまちづくりの推進」についてです。

近年、全国各地で局地的な豪雨や、線状降水帯を伴う長時間の降雨により、土砂崩れや水害といった災害が頻発しています。

このため、河川の流域全体で連携して取り組む流域治水をはじめとする防災・減災対策や都市基盤整備を進めるとともに、更新した洪水ハザードマップなどを活用し、市民一人ひとりの防災意識を高め、地域の防災力の強化を図り、災害に強いまちづくりを進めます。

同時に、地球温暖化などの気候変動による市民生活などへの影響が顕在化する中、昨年２月に長野地域連携中枢都市圏の関係市町村と共同で発出した「2050年ゼロカーボン宣言」に基づく脱炭素社会の構築に向けた様々な施策を、今の市民も未来の市民も大切に作るSDGsの視点に立ち、推進してまいります。

このほかにも、本市独自の子どもの権利を守る条例の制定に向けた協議や、先月まで市民意見等の募集を実施した「(仮称)長野市犯罪被害者等支援条例」の制定に向けた準備、９月定例会において議員の皆様からの提出により決定いただいた「長野市インターネット上の誹謗中傷等の防止及び被害者支援に関する条例」に基づく相談支援体制の強化等の関係施策の推進などについても、議員の皆様とともに取り組んでまいります。

Ⅲ 令和４年度決算

次に、令和４年度一般会計決算について申し上げます。

歳入につきましては、基幹収入である市税のうち、個人市民税は所得環境の改善などにより、また、固定資産税は新型コロナウイルス感染症に係る軽減措置の終了などにより、ともに前年度を上回り、市税全体では前年度を14億円上回る597億円となりましたが、歳入総額では、前年度に対し53億円減の1,706億円となりました。

次に歳出につきましては、新型コロナウイルス感染症に係る経済対策として実施したプレミアム付き商品券事業費の皆増の一方、令和元年東日本台風災害の災害廃棄物収集運搬完了に伴う関連経費の減などにより、歳出総額では、前年度に対し50億円減の1,651億円となりました。

この歳入歳出の決算額から、令和４年度の実質収支は、38億円となり、昨年度に引き続き、財政調整基金の取崩しに頼ることなく決算を締めることができいております。

令和４年度決算につきましては、認定議案として、関係書類を添えて提出いたしますので、御審査の上、御決定賜りますようお願い申し上げます。

次に、令和４年度決算に基づく財政健全化指標につきましては、いずれの指標も国の警戒ラインとなる早期健全化基準を大きく下回っており、令和４年度決算時点での、本市財政の健全性は保たれております。

今の市民にも、将来の市民にも偏った負担を強いることのないよう、引き続き、健全財政を維持していくことが、大変重要であると考えております。

Ⅳ むすび

以上、主な施策・事業の動向及び令和４年度決算について申し上げます。

さて、この度の改選により、市議会は新たな体制でスタートを切られたところではありますが、共に市民の代表として切磋琢磨し、市民の皆様の幸せと長野市の発展のために取り組むことが大切であると考えております。

今後とも、市議会や関係機関、そして市民の皆様との協働により、魅力あふれるまちづくりを推進してまいり所存であります。議員の皆様の一層の御理解と御協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

本日、提出いたしました案件は、「令和５年度長野市一般会計補正予算」など議案２件、認定１件、報告７件であります。

詳細につきましては、西澤副市長から説明申し上げますので、十分な御審議をいただき、御決定を賜りますようお願い申し上げます。